

組合員数112,617人
支部数 938
読者数 68,939人
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

(5日現在)



第370号 2020年10月15日(木)

(通巻第569号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 金子 民夫 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

コロナ禍でこそ高齢者はつながろう

年金者組合 全国都道府県委員長会議開く



初のWeb会議

中央執行委員と全国の都道府県委員長をインターネットで結ぶ

安倍継承政治はゴメンです

菅内閣の「自助」―社会保障破壊許さない

秋の仲間づくり月間で増勢へ

全日本年金者組合は9月21、22日の2日間、全国都道府県委員長会議を開催しました。東京・お茶の水の全労連会館に中央執行委員が集まり、43都道府県委員長とインターネットで結ぶ初のズームソフトによるweb会議。31人が発言し、秋

委員長会議の冒頭、金子民夫中央執行委員長は安倍政治継承をうたう菅新首相の「自助・共助」を破壊するものと批判し、総選挙で政治を変え

31人が発言

中央本部の廣岡書記長(基調報告)、田中(組織)、加藤(要求運動)、飯野(裁判運動)の3副委員長の提案と、近藤(岡山)、深谷(和歌山)、渡部(北海道)、丹羽(愛知)、藤垣(奈良)、杉山(東京)各都道府県委員長の特別報告をうけての質疑討論では会場正面のプロジェクター画面に顔がアップされ、次のような発言がありました。

「春の牟岐支部につきき4つの町で女性を中心に新支部結成めざす」(徳島・井上委員長)。

「小豆島支部を12人で再結成し15人に増やした」(香川・篠田委員長)。

「女性の県本部役員が3割を超えた。就労確保を戦略課題にして打って出る」(千葉・岩崎委員長)。

「世田谷区では認知症条例を制定して予防、保護などを進めようとしている。活用していきたい」(東京・小澤副委員長)。

「オンデマンド交通の運動を進める」(三重・辻井委員長)、「署名5万筆を集めて、足守れの京都市交渉を行った」(京都・山本委員長)。

「生活保護受給など暮らしていけない高齢者の支援を強める」(神奈川・杉沢委員長)。「三八支部は地域7自治体のうち6市町村で補聴器助成の意見書採択をちとった」(青森・千代谷委員

長)。

また、マイク不調で音声

が流せなかった宮城・阿部委員長は「片肺飛行状態の県本部役員体制の強化へ人材を発掘し、最

高時現勢回復を目指す」と文書発言しました。

こうした積極的な発言を受けて廣岡書記長はまとめで、①コロナ禍の下でも秋の月間で大きな成果を上げる。②改憲阻止、社会保障解体を許さず、住みよいまちづくり、安心できる年金制度を求める。③年金裁判運動の3つの課題を結び運動を強めていくこと、総選挙方針(4面に掲載)に従い、「野党共闘と野党統一候補の勝利のため」に全力をあげられることを呼びかけました。

アベ継承政治ノー

福島・白河年金者の会
共同行動に相次ぐ声援



年金者組合も参加した共同行動による大宣伝

福島・白河年金者の会も加入している「憲法守る白河共同センター」は9月3日、手書きの「アベ継承政治 許せない」のプラスターや「軍事費削減してコロナ対策万全に」などの横断幕を掲げ、全国連帯「アベ政治許さない」白河行動を行いました。

「アベ悪政に加担してきた政治家が、反省もな

く平気な顔で「ポスト安倍」として政権を継承するのは、絶対許せない」、「今こそ、市民と野党共闘で新しい政治をつくりあげよう」と呼びかけると、信号待ちの車両から手を振っての激励や、駐車場では女性が日傘を振り上げて声援を送ってくれました。

(福島・白河 本田武男)

命守り絆広げる仲間づくり進めよう。

風雪

▼20年ほど前のデモ帰り、久しぶりに飲んだ先輩に幼く愛くるしかった彼の息子の近況を尋ねた。「まいったよ3つの言葉しか言わないよ」と手を焼いている様子。

▼3つの言葉とは「うるせえな」、「知らねえよ」、「関係ねえだろ」という。他に何も言わないのかときくと、「カネくれよ」とは時々言うな」の答えに、思わず吹き出してしまった。

▼最近のこと。その彼が息子を装った「オレオレ詐欺」電話を受けあわてて200万円持って家を出たが、待ち合わせ場所を間違えて難を逃れた。「その話をしたらバカ息子、詐欺にやられたと思っ

て半額の100万円オレにくれよ、って言いやがるんだよ。大爆笑となった。

▼悪態をつかれても何歳になろうとも、わが子を案じる親心。年金者組合の要求は高齢者だけのためではない、子や孫の将来を思う「親心」でもあることを広く知らせたい。